

府中市男女共同参画計画 重点項目一覧(各委員評価結果)

【評価基準】 ※→は評価点数換算
 A…施策は非常に良好に進展している → 5
 B…施策は、良好に進展している → 4
 C…現状維持 → 3
 D…施策がやや後退している → 2
 E…後退している → 1

I あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

001 審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進		全庁 (政策課)	各委員による評価										評価平均 2.5
			D	C	C	C	D	C	C	D	E	C	
特記事項 (コメント)		<p>・目標の35%に届いていないこと、女性がゼロの委員会が4から6に増えたことでこの評価とした。</p> <p>・女性の選出は大変かと思いますが、女性がいることで審議会も新たな視点を得られると思います。数値目標の周知ももちろん大切ですが、選出する側へ女性登用の大切さ、メリットの訴求をすると、目標達成に近づくかもしれません。</p> <p>・全体的には30%を超えているが、女性委員がいない、あるいは数値目標に達していない審議会等については、所管課に対し引き続き働きかけを行っていただきたい。</p> <p>・まだ女性の比率が0%という審議会があるのでこれからも目標に近づけるように努力してほしい。</p> <p>・女性委員のいない委員会が5つ、20%以下が7つあり、依然として女性構成比も32%と低い。早期に男女構成比50%の達成を目指してください。</p> <p>・附属機関においては、目標の30%に達しておらず、類似期間(これがよくわからない)を加えて、ようやく目標を超えているのが気になりました。女性委員がゼロのところを無くしていく努力に期待しております。</p> <p>・【別表】女性委員人数が0人の審議会・協議会が5つ(H25実績4つ)で増加したが、男女構成率が32.2%(H24年実績30.3%)に比べ改善はされている。しかしH26年度数値目標の男女構成率35%には届いていない。</p> <p>・全52審議会のうち女性委員が35%以下の審議会が全体の65%にもなり、このうち女性委員がひとりもない審議会が6会12%もあるということ、更には比較的新しく設置された審議会の女性委員率の低いのが残念。</p> <p>・男女共同参画都市を宣言した府中市としては、物足りない。全職員に徹底していただきたい。</p>											
判定理由及び改善策の提言等 (案)		<p>H26年度は、32.2%と昨年度より増加しましたが、H26年度の数値目標の男女構成率35%には届いていないため、この評価としました。</p> <p>女性委員がいない、あるいは数値目標に達していない審議会等については、引き続き働きかけを行ってください。</p>											



②女性の人材育成と活動支援

評価平均

004	市民の自主的学習活動の援助	市民活動支援課	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C
-----	---------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.9

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・20周年をきっかけに男女共同参画の気運を盛り上げた。他部門、他団体との連携事業に意欲を示したことなどを評価した。 ・フォーラムや親子参加型のイベントの参加者が増えていることは、良い結果だと思う。 ・市の支援により、市民の男女参画意識が高まっているように見えてとれます。 ・引き続き事業実施に努めていただきたい。 ・引き続き幅広いPRに努めてください ・女性センター創設20周年記念にグリーンプラザで開催した基調講演は内容も充実しており、大勢の来場者が熱心に聴講していた。 ・フォーラム来場者数が1,000人超、また、参加団体の発表内容も充実してきているのは嬉しいことと素直に評価します。市民企画講座の応募は増えましたが、内容の充実と参加者への働きかけが今後の課題です。 ・男女共同参画市民企画講座は10企画の応募があり、5講座実施(H25年度8企画4講座実施)で増加、男女共同参画推進フォーラムの参加者は1,100人(H25実績782人)で2年連続で増加しており、H26計画の参加者増加・講座支援の目標として評価できる。 ・登録団体の増加や市民企画講座への積極的参加が見られる中、センター設立の意義やジェンダー 이슈の共通認識を再度市民に確認しつつ、参加の呼びかけを行ってください。 ・気運が動きつつあるところなので、効果的に生かしてほしい。 ・登録団体の皆さんに女性センターの存在意義をもう少し理解してもらおうよう努力して頂きたい。
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>フォーラムや親子参加型のイベントの参加者が増えているので、この評価にしました。 登録団体や市民への積極的参加を促すとともに、今後も、男女共同参画の意識啓発に努めてください。</p>
--------------------------	---



③地域活動における男女共同参画の推進

評価平均

010	コミュニティ活動等への参加促進	市民活動支援課	B	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C
-----	-----------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.2

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標達成。役員比率は前回と比べて増？減？どういう努力をしてどういう成果だったか、との報告がほしい。 ・男女共同参画に関心のある市民活動への支援が、積極的に行われ、功を奏しているように思いました。また、VTRの貸出についてですが、DVDに変換して貸し出すことができれば、需要が復活するかもしれません。もしくは新たな映像をラインナップすることが可能であれば、より良い活動になるかもしれません。引き続き、検討をお願いします。 ・引き続き事業PR及び事業実施に努めていただきたい。 ・役員は男性、実行委員は女性の比率が多いので、引き上げに努めてほしい。 ・毎年7月に開催される文化センターまつりは、老若男女幅広い層が大勢参加し内容も充実している。しかしながら、役員構成が男性に偏っており、女性の特性を活かした企画が望まれる。 ・広報活動に工夫していただきたいです。 ・実施回数4,400回、延べ参加人数301,090人。H26数値目標の4,000回、300,000人を上回ったが、実施回数、参加人数とも一昨年、昨年度実績は下回ったためこの評価とした。実行委員(2種)の女性比率は91%、役員の男性比率は64%で、比率はやはり偏りがある。 ・活動に参加する市民の役割分担が、そのまま性別役割分業になっていかないよう(実行委員の90%が女性であるのに、役員の女性率は30%強にとどまっている。)参加者人数のみにこだわらず、男女共同参画を推進してください。 ・コミ協役員、文化祭実行委員、ちびっこふれあい文化祭実行委員の男女比が50:50%になるようには難しいですか？
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>H26数値目標の4,000回、300,000人を上回ったのでこの評価としました。 活動に参加する市民の役割分担が、そのまま性別役割分業になっていかないよう男女共同参画を推進してください。</p>
--------------------------	--



④安全・防災対策の推進

評価平均

019	男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進	防災危機管理課	C	B	B	C	C	C	C	C	B	C	C
-----	----------------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.3

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に女性委員を増やす努力をしている。 ・防災会議に女性の参画が拡大しているのは良い結果だと思う。 ・安全・防災の観点でも男女を意識した活動は素晴らしいと思います。性別に関係なく、地域を守りたいと思う気持ちは変わらないはず。講習会でも男女の比率を意識していたので、今後は数値目標に参加女性の割合をいれれば、チャレンジングな目標になるかと思っています。 ・女性の防災会議委員への委嘱については評価できる。しかし数値目標と比較すると、避難所管理運営マニュアル(案)は昨年度に比べ、策定された中学校数は増加しているが、全中学校で策定されてはいない。また「多様な参加者による市内3校での総合防災訓練の実施」については、取り組みを行ったのか否かの記載がないため評価はできない。引き続き事業実施に努めていただきたい。 ・だれでも参加しやすいように検討してほしい。 ・災害時における女性の役割はより一段と重要になっており、女性の視点での計画立案が不可欠である。 ・25年度の提言を活かし、26年度は女性参加者が増え、女性リーダーの育成に貢献できたことは素晴らしいと思いました。今後も、更に女性が参加しやすい内容と応募方法に期待しています。 ・H26計画が検討会・事前打合せ会等の開催の際は女性の参加を配慮するで、数値目標市内3校での総合防災訓練の実施であり、H26実績では実施の有無は記載がないが、H25年度に続き各小中学校の避難所管理運営マニュアルの策定については計6校→計16校で策定が完了している。 府中市防災会議委員にH26年度に女性1名を新たに委嘱したと記載あり。(H25年度は2名) ・防災会議は0%だった女性委員を14%まで上げている。伸び率としては高い。また防災マニュアルも子供や高齢者にもわかり易く作られている。更に、障害を持った女性、高齢女性、シングルマザー、性的マイノリティー、外国人女性へのジェンダー的配慮を盛り込んでほしい。講習会も開催されているので、この評価にした。 ・災害時の避難生活では、男女の性差によるニーズに大きな違いがあるので、双方の必要性が強く求められる。 ・実際の災害はどんな時間帯に起きるかわからないので、女性の防災意識、役割は重要だと思います。防災会議の男女比の割合は駄目です。
----------------	---

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>防災会議に女性の参画が拡大しているため、この評価としました。</p> <p>避難所管理運営マニュアル(案)は昨年度に比べ、策定された中学校数は増加しているが、全中学校で策定されてはいない。引き続き、男女双方の視点から事業の推進を進めてください。</p>
--------------------------	---



⑤市職員の男女共同参画の推進

評価平均

021	女性職員の参画意識の向上	職員課	C	C	C	C	C	D	D	D	C	D	D
-----	--------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2.5

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査やリーダーシップ研修など、目標達成のための取組が充実していたことを評価。残念ながらまだ結果に結びついていないが、その手を緩めず進めてほしい。 ・女性の資格対象者に対して、受験者数が少ないように思いますが、分析や講師を招くなど、積極的に活動しているので、この評価にしました。 ・新たな取り組みを実施されたことは評価できる。しかし劇的な効果を期待することは難しいかもしれないが、引き続き女性職員の参画意識の向上に取り組んでいただきたい。 ・現状維持でこの評価にしました。 ・女性管理職の拡大を図るためには、単に意識改革や啓発活動ばかりでなく、ワーク・アンド・バランスを徹底することが大切である。 ・女性の昇任試験受験率の向上を計る前に、市職員の内部体制に問題があるのではないのでしょうか。例えば、男性の高齢の方が多いために、女性が上に立って仕事をやりにくい環境なのではありませんか。根本的見直しをお願いします。外部から講師を招く前にやるべきことがあるように思いますがいかがでしょうか。 ・課長補佐級(管理職)昇給試験の受験者は、H26年度は受験者2名で合格者0人で、H25年度と同様だった。資格対象者数はどちらも同数(19名)であり、数値目標である受験率の向上は見られなかった。 ・女性管理職の割合の向上はみられないが、アンケート調査や女性職員への聞き取り、座談会の実施等の「向上に向けた準備」ができていますので、この評価とした。 ・すべての活動の基本となるので、あと一步実践施策が求められる。 ・男女共同参画都市としては非常に残念です。市内一般企業のモデルになるように。
----------------	---

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>女性管理職の割合の向上はみられないが、アンケート調査や女性職員への聞き取り、座談会の実施等の「向上に向けた準備」ができていますので、この評価としました。</p> <p>女性管理職の拡大を図るためには、単に意識改革や啓発活動を行うばかりでなく、ワーク・ライフ・バランスを徹底することが大切です。引き続き、女性職員の参画意識の向上に取り組んでいただきたい。</p>
--------------------------	---



(2) 働く場における男女共同参画

①就業のための支援

024②	起業のための講座の実施	経済観光課	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C
------	-------------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

評価平均
3.1

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・本気で起業を希望しているかどうかを、どこで見極めたのか不明な点もあるが、新しいことにチャレンジする前向きな姿勢を評価した。講座終了後に起業した人がいたのかどうか？目標の「2割の創業」は達成したのかどうか？ ・最近では自宅でいながらにして仕事し、子育てしたい、起業したい女性が増えているように思います。希望者は全就業者の中でも少ないと思いますが、女性の選択肢を拡げるためにも、引き続き支援をしてほしいです。 ・「本気で起業を希望する方向け」へとの内容に変更し、参加者は増加し女性の割合は微増となったようであるが、数値目標を達成しているようにはみえない。このため、引き続き事業実施に取り組んでいただきたい。 ・これからも本気で努力してほしい。 ・起業家志望がどのくらいいるのか、開業セミナー参加希望者数、周知方法等のデータを収集してください。 ・今後も起業希望者のために、大いに支援してあげてほしいと思います。 ・開業支援セミナーを実施、H25年度の参加者29名より増加し、H26年度は参加者44人(男26名 女18名)、前年度より女性の受講者率は微増H26数値目標は本気で起業する方の2割程度の創業を目指すところがあるが、実際の創業数は記載なし。今年度より本気で起業を希望する方向けに講座内容を変更したと記載あり。 ・引き続き、ステップアップセミナー、フォローアップセミナー等の支援講座を開催してください。PRは市民活動支援課とタイアップすることも可能では ・起業支援セミナーのPRは充分ですか？相談窓口は？
----------------	--

判定理由及び改善策の提言等 (案)	<p>女性の受講者率が増加したことについては評価できるが、女性活躍推進法も成立したことから、女性の就労支援の充実に向けた講座開催について、関係機関との連携を図ることも踏まえ検討してください。</p>
----------------------	---



②労働環境の整備

評価平均

028②	啓発活動の充実	市民活動支援課	B	B	C	C	B	C	B	B	C	C	C
------	---------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.5

特記事項 (コメント)	<p>・講演会の企画に工夫をこらして成果を出したこと、職員のワークライフバランス意識の向上に努めたことを評価した。</p> <p>・ここ最近のワークライフバランスの関心の高まりは目を見張るものがあります。継続して、啓蒙していただきたいです。日本人に注目されているブータンを取り上げたのは、とても良かったと思います。開催の回数が増えることを期待して、この評価にしました。</p> <p>・「男女共同参画週間記念講演会」だけでなく、さらにより多くの市民が参加できるような機会を増やすとともに、その企画内容も工夫されることを期待します。今後とも引き続き事業実施に努めていただきたい。</p> <p>・もう少し男性の参加が出来るよう工夫してください。</p> <p>・女性センター創設20周年記念講演会は大変盛況であり、会場はグリーンプラザ等、ある程度キャパシティーがあったほうが啓発活動の効果が上がる。</p> <p>・今後も企画内容を工夫して、ワーク・ライフ・バランスの啓発に努めていっていただきたいと思います。</p> <p>・啓発事業年間1回以上開催の目標に対して、男女共同参画週間記念講演会を1回実施。H25年度は受講者107名(内男性14名)で、H26年度は85名(内男性15人)と減少したが、講演会とは別に職員課共催事業を1回実施して受講者34人(内男性18人)と総計では参加者は増加した。</p> <p>・講演会の開催は実施されているが、今後講演会以外の活動も再考が必要と思われます。</p> <p>・講演会、講座の受講者の男性は問題ないと思いますが、女性受講者のつれあいに対して如何に働きかけるを研究しなければと思います。</p>
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>講演会の企画内容に工夫をこらし、意識の向上に努めたことから、この評価にしました。</p> <p>「男女共同参画週間記念講演会」だけでなく、さらにより多くの市民が参加できるような機会を増やすとともに、今後も企画内容を工夫して、ワーク・ライフ・バランスの啓発に努めてください。</p>
--------------------------	---



(3) 家庭との両立支援

①子育て支援の充実

評価平均

036	低年齢児保育の充実	保育支援課	D	C	B	C	D	C	D	D	D	C	D
-----	-----------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2.5

特記事項 (コメント)	<p>・現在の実態と目標が同じということは、前進の可能性はゼロと判断した。定員を増やしても待機児童は増えるばかりという難しい課題ではあるが、横浜市の例も参考にしながら、他の手立てを考えてほしい。</p> <p>・産休明けすぐに、会社復帰したい女性が増えているように思います。引き続き、活動を推進し、働きたい人がいつでも安心して働ける市を目指してほしいです。一方で、待機児童の解消には、引き続き尽力してほしいです。</p> <p>・引き続き待機児童の解消に努めていただきたい。</p> <p>・前年より待機児童が増加しているのでこの評価にしました。</p> <p>・認可保育所の増設のほか、認証保育所の拡充等をあらゆる関係機関と連携しながら、待機児童の早期解消を目指してください。</p> <p>・待機児童数が増加の一途という現実を、ただ保育所を増やすことだけで解決しようとしても追いつかないと思います。私はあくまでも子どもが3歳まではなるべく母親の手で育ててほしいので、それができる環境を整える工夫に力を入れてほしいと思います。</p> <p>・H26年度計画では0～2歳児の保育所定員総数が1,795名でH26の実入所数は1,830名と定員上回っているが、待機児童数は352人と増加している。</p> <p>・対策が現状の悪化についていっていないので、思いきった制度改革や施設の増設等のテコ入れが必要と思われる。低年齢児の増加は市にとって喜ばしいことであるのだから。</p> <p>・他の自治体の現状を見るにつけ、府中市ではまだまだ出来ると思われる。</p> <p>・待機児童の解消は、なるべく早くお願いします。むずかしい問題ですが、解消すれば事足りるではないかと思えます。</p>
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>毎年、保育所の定員を増やしているものの、府中市の人口の増加及び就労機会を求める母親が多いことなどから、入所希望者が増加し、待機児童数がなかなか減らない状況は一定の理解ができるが、前年より待機児童が増加しているためこの評価にしました。</p> <p>引き続き、認可保育所の施設整備等を推進し、低年齢児保育の充実を図ってください。</p>
--------------------------	--



②ひとり親家庭への支援

評価平均

041	ひとり親家庭の自立のための援助サービスの実施	子育て支援課	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
-----	------------------------	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.0

特記事項 (コメント)	<p>・様々な取組を実施し、周知方法についても努力していることは評価できるが、実際に必要としている人に支援が届いているのかどうかが見えない。</p> <p>・日本における子供の貧困が、最近話題になっていますが、おそらく隠れ母子家庭もあると思います。セミナーへの周知方法、参加人数の向上に期待して、この評価にしました。母子家庭の自立を促す施策は素晴らしいと思います。</p> <p>・引き続き事業の実施に努めていただきたい。</p> <p>・増加しているのでこの評価にしました。</p> <p>・潜在需要は年々高まっており、各種支援制度の周知徹底、自立のための援助サービスを促進してください。</p> <p>・ホームヘルプサービス、とてもいい事業だと思いますので、周知・支援に更に努めて、ひとり親家庭で育った子どもがさみしい思いをしないようになるといいですね。</p> <p>・ひとり親ホームヘルプサービスの派遣時間は、8,999時間でH26計画の7,458時間を上回った。(付加時間が4,250時間別に記載があるため、合計では11,708時間で下回る) なお、H25年度の5,908時間に比べ増加し、派遣世帯数もH25年度31世帯に比べ45世帯と増加した。</p> <p>ひとり親家庭自立支援事業は、高等技能訓練促進費で8件で目標値11件を下回り、教育訓練支給金では0件で目標値5件を下回った。セミナー開催は計画通り2回(参加者総計18人)実施された。</p> <p>・引き続き、当事者からの調査、ききとりをしつつ支援サービスを実施してほしい。</p> <p>・それぞれの家庭で皆違っていると思います。キメのこまかい支援をよろしくお願いします。</p>
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>ホームヘルプサービス事業の派遣回数、派遣時間ともに目標数値を上回っているなのでこの評価にしました。</p> <p>引き続き、当事者からの調査・聴き取りをし、各種支援制度の周知徹底、自立のための援助サービスを促進してください。</p>
--------------------------	---



③高齢者・障害者・介護者支援等の充実

評価平均

044	生きがい事業の充実	高齢者支援課	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C
-----	-----------	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.1

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい事業は女性に特化したことではないが、男性より長寿の女性、老人クラブも女性が多いという実態から、生きがい事業の充実は女性にとって極めて重要と考える。 ・様々な取り組みを継続的に実施しているので、この評価にしました。 ・引き続き事業の実施に努めていただきたい。 ・男性の活動にも力を入れてください。 ・空き家や空き店舗の借り上げ等有効活用して、高齢者から児童まで安心して集まり、活動できる場、人と人がつながりあえる場を確保提供してください。 ・今後益々必要不可欠な事業だと思いますので、しっかりと検証を行って、より内容の充実・向上を図っていただきたいとします。例えば、課を越えた事業を通して、互いに連携・向上していただきたいとします。 ・地域による支えあいの体制を構築するためにも生きがいづくりのための活動の場や機会を地域に創出できるように取り組むことがH26計画で、数値目標はない。老人クラブの会員数はH25年度で女性4,199人男性2,474人でH26年度は女性4,064人、男性2,429人と減少している。女性の割合は前年と同様に6割以上である。 ・男性の参加者の呼びかけ、参加しやすい事業内容等、男女共同参画事業の中でも男性に向けた項目。そこに焦点を置いた事業を期待する。 ・団塊世代が高齢者の仲間入りをして、時間の経過を経て各方面での実践が生かされてきている。 ・この問題も人それぞれですが、男女共に楽しめる場が多くあると良いですが？
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>様々な取り組みを継続的に実施しているので、この評価にしました。</p> <p>府中市においても、高齢社会が進んでいくことも想定されることから、今後も、男性への参加の呼びかけ、参加しやすい事業内容等を工夫し、男女ともに参加しやすい事業の実施に努めてください。</p>
--------------------------	---



(4) 国際社会への貢献

①国際理解と国際交流の推進

評価平均

054	在住外国人女性の支援	市民活動支援課	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
-----	------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.1

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会に託児を設けたこと、外語大との共働で育児ノートを作成したことなど、今までにない新しい取組にチャレンジしたことを評価した。 ・誰にでも優しい市の実現のため、外国籍の市民にも支援を継続してほしい。新たな事業立ち上げを期待して、この評価としました。 ・引き続き工夫を加えながら、事業の実施に努めていただきたい。 ・日本語学習会を定期的に行ったので、この評価にしました。 ・乳幼児でも連れて気軽に参加できるサロンを設け、人とのふれあいの中で、日本語の習熟、日本文化の啓発に努めてください。 ・もっとオープンな形で、サロンを開催してはどうなのでしょう。日本人にとっても、外国の方との交流が身近になれば嬉しい気がします。「日本語学習会」がどのような内容なのかとても興味があります。 ・日本語学習会の開催数は190回で、前年度の192回を下回った。H26数値目標の192回も下回った。週2回の託児を設ける活動を継続することが目標で、今年度も継続済みである。ただし、学習登録数は男性93人、女性149人で男女とも前年を大きく上回った。 ・こちらからの一方的な学習会の呼びかけだけでなく、必要なときに必要な人が必要な情報を受けられるよう、アクセスできる環境を整備すべき。 ・一般市民との交流が多くあると良いですね。これは市民の問題でもあると思いますが、うまい働きかけをお願いします。
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>学習者登録数が男女とも前年を大きく上回ったので、この評価にしました。 新たな事業立ち上げも含め、引き続き工夫を加えながら、事業の実施に努めていただきたい。</p>
--------------------------	--



②平和・人権意識の推進

評価平均

057	平和展の開催	生涯学習スポーツ課	C	B	C	C	C	C	B	C	E	B	C
-----	--------	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.1

特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような事業にも男女共同参画の視点を取り入れることが重要と考える。事業の趣旨が変わってしまうとはどういうことか？高い目標を掲げていることは評価する。 ・継続していくことが大切だと思う。 ・重要なテーマにつき、引き続き実施してほしい。平和展に関しては、目標人数に届かなかったものの、憲法講演会の聴講者大幅増につき、この評価としたい。 ・引き続き啓発に努めていただきたい。 ・目標に達しないのでこの評価にしました。 ・なかなか難しいテーマではありますが、戦争体験を風化させないために、今後とも啓発事業を継続実施してください。 ・申し訳ないのですが、まだ展示を一度も拝見しておりません。事業に対して、担当課の取り組む姿勢が、市民の目線に立ち、かつ、女性のあらゆる暴力の防止を強く感じ、大変好感が持てます。継続に期待しております。 ・H26年度計画の通り、夏休みこどもバスツアー、映画会等が実施され、合計参加者のH26年度実績は、15,108人でH25実績は14,042人を上回ったが、数値目標の18,000人は下回った。 ・「男女共同参画にかかる目線を取り入れると事業の趣旨が変わってしまうおそれがある」とは、あまりに男女共同参画事業の重要性とそれが平和な社会をつくる基本的考え方である事の理解に乏しい回答です。市民と協働して男女がともに助け合って平和な社会を作っていけるような平和展の企画を期待します。 ・戦争になったら人権等は絶対にありません。戦争とは敵を殺さなければこちらが殺されます。国際法等も無いも同様です。体験者に語ってもらったり、文集を作る等は如何ですか。今なら間に合うのでは？
----------------	--

判定理由及び 改善策の提言等 (案)	<p>平和展に関しては、目標人数に届かなかったが、憲法講演会の参加者の増加もあり、この評価としました。重要なテーマであるため、戦争体験を風化させないために、今後とも啓発事業を継続実施してください。</p>
--------------------------	--



目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (1)社会・地域における男女共同参画

資料2

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

あらゆる分野において男女それぞれの意見が反映されるよう、公的な意思決定部門に男女が平等に参画できるようにします。審議会等の委員の構成を一方の性別に偏ることのないようにし、最終的には男女半数を目指します。

	事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
001	審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進	全庁 (政策課)	「附属機関等の委員の選任に関する基準」に基づき、男女構成比の均等化を進める。団体等へ推薦を依頼する際には、女性委員を出すよう働きかけを行う。	最終的な目標値は、男女構成比率50%だが、それに向けてまずは35%を目標として取り組む。	「附属機関等の委員の選任に関する基準」とおり、附属機関等の委員の選任に際しては、男女構成比がそれぞれ30%以上となるよう努めた。なお、26年度に設置されていた附属機関等の委員の男女構成比については、別表のとおり。	2	第6次総合計画前期基本計画では目標値を「35%」とした。今後も職員への周知徹底を心がけ、目標値に近づけられるよう努める。
002	すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進	全庁 (政策課)	「附属機関等の委員の選任に関する基準」に基づき、男女構成比の均等化を進める。団体等へ推薦を依頼する際には、女性委員を出すよう働きかけを行う。	当面の目標として、男女両方を含む附属機関等を90%以上とする。	すべての附属機関等に男女両方の委員を登用するよう努め、全52機関のうち46機関で女性委員を登用した。(88.5%)	3	特定の分野の附属機関等は女性委員は登用することができない状態ではあるが、今後も新規機関が増えていく中で、女性委員の登用を働きかけていく。
003	市政への女性意見の反映	広報課	—	—	—		—

府中市男女共同参画計画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
001	
判定理由及び改善策等の提言	

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (1)社会・地域における男女共同参画

②女性の人材育成と活動支援

女性の人材育成を目的とした講座や研修会を実施するとともに、学習・情報提供の場や参画の機会を提供し、その後の活動支援をします。

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
004 市民の自主的学習活動の援助	市民活動支援課	26年度は女性センター設立20周年を迎えるため、フォーラム事業を拡充し、府中グリーンプラザを会場とする企画を検討していく。 女性センター登録団体に対する活動場所の提供や市民企画講座については引き続き行い、団体支援に努める。	男女共同参画推進フォーラム来場者数 1,000人 市民企画講座応募団体 10団体	女性センターの施設を登録団体に無料で利用可能としている(26年度登録団体数 129団体) 第28回男女共同参画推進フォーラムを開催し、1100人の来場があった。市制施行60周年、女性センター設立20周年、男女共同参画都市宣言15周年を記念して、3日間開催し、基調講演はグリーンプラザで開催した。 男女共同参画市民企画講座事業において、5企画の応募があり、5講座を実施した(受講者105人、うち男性22人) 子育てイベントを登録団体と保育支援課、府中恵仁会病院と共催で企画し、0～3歳児を対象の親子参加型のイベントを実施した。(参加者320人、うち男性67人)	4	フォーラム来場者数は、3日間開催したこともあり、1000人を超えた。参加団体も増加傾向にあり、男女共同参画に対する市民の関心が高まっていると捉えることができる。 市民企画講座については、参加申込み団体が増える中で、基準や予算の検討が必要である。
005 女性団体の学習・対話・交流の充実	市民活動支援課	市民が利用しやすい情報利用室の運営に努める。	蔵書数 8,000冊	女性センター内の交流広場及び情報資料室は、市民が自由に使用できる学習スペースとなっている。 また、情報資料室では、市民が学習や啓発に役立てるよう書籍や資料などの蔵書の充実に努めた。 蔵書数 7,962冊	3	蔵書の内容等を精査し、引き続き内容の充実に努める。
006 女性団体、NPO・ボランティア団体等、グループ指導者等の育成と活動の支援	市民活動支援課	登録団体交流会 男女共同参画フォーラム 登録団体共催講座等の開催 府中NPO・ボランティア活動センターを中心に、市民と団体、団体と団体をつなげるコーディネート業務の充実と団体支援の強化を図る。	数値目標設定は困難。 センター登録団体数 120団体を目指す。	女性センター登録団体で連絡会を組織し、団体の代表者が企画運営する総会や交流会を実施した。 また、男女共同参画推進フォーラムにおいて、27団体が講座等の事業を運営し、6団体が登録団体共催講座(参加者345人、うち男性46人)を実施するなど、育成の機会を提供できた。 府中NPO・ボランティア活動センターの運営を中間支援組織に委託して、団体活動に関する情報収集及び提供、市民への団体の活動内容やイベント情報等の周知、活動支援に係る講座や相談業務、コーディネート業務を行うとともに、団体との協働による講座実施、団体ニーズの調査、定例業務の改善を積極的に行った。 NPO・ボランティア活動センター登録団体数 126団体	4	団体同士の交流が多くなるよう、参加の呼びかけと企画の内容の充実に努めたい。 団体の支援メニューを充実することにより、府中NPO・ボランティア活動センターの登録団体数が目標値である120団体を超えたため、4とした。今後は登録団体数のさらなる増加を目指し、より広範囲の活動支援を検討していく必要がある。
007 市民との協働事業の推進	市民活動支援課	企画提案型事業及びNPO・ボランティアまつりを継続して実施する。	企画提案型事業応募事業数10事業。NPO・ボランティアまつりは、1万5千人の来場者数を目標とする。	市民団体の企画提案型事業として市民活動支援事業(10事業)を実施し、補助金を交付した。 また、市民やNPO団体からの推薦者で構成されるNPO・ボランティアまつり実行委員会と協働し、イベントを実施した。 (来場者数1万4千人)	3	企画提案型事業は、NPOの特性を生かし公益につながる事業を展開することができた。また、NPO・ボランティアまつりは、参加団体を主体とした運営を進めることができたが、再開発事業等の影響により会場の縮小を余儀なくされ、来場者数が、昨年度よりは増加したが目標値には到達しなかったため、3とした。
008 自主グループとの共催講座の開催	生涯学習スポーツ課	公民館講座は、各文化センターにて企画・実施しているため、今年度においても積極的に開講し、自主グループとの協働を進めるよう検討する。	11講座(各センター1講座程度)	公民館講座の中で自主グループのメンバーを講師とするなど市民協働による講座を開催する。 3講座、7回実施	2	目標値に到達しなかったが、今後も、各圏域において市民協働の視点を取り入れた講座の企画及び実施を推進する。
009 女性関係会議への参加促進	市民活動支援課	継続的に全国規模の女性関係会議やフォーラムに実行委員の派遣を検討し、その結果を男女共同参画推進フォーラムで発表する機会を設ける。	全国規模女性会議・フォーラム等1大会に派遣	女性問題に関心がある団体・個人と交流を深め、現在の日本が抱える女性問題について学ぶため、全国的なフォーラムに府中市男女共同参画推進フォーラム実行委員を派遣した。 ①国立女性教育会館フォーラム 2名	3	予算等の関係により、関係会議への派遣回数は1回であったが、市民が全国規模のフォーラムに参加し、その内容を多くの方々に周知することができた。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ・ 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか | A…施策は非常に良好に進展している |
| ・ 担当課の自己評価は適切に行えているか | B…施策は良好に進展している |
| ・ 課題を適切に把握しているか | C…現状維持 |
| | D…施策がやや後退している |
| | E…後退している |

重点項目	評価
004	
判定理由及び改善策等の提言	

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (1)社会・地域における男女共同参画

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

③地域活動における男女共同参画の推進

生活の基盤である地域において、男女が固定的な性別役割分業意識にとらわれずに、主体的に協力して地域を支えていくことができるよう、コミュニティ活動やボランティア活動を支援します。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
010 コミュニティ活動等への参加促進	市民活動支援課	文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業を通じ、地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開する。	事業実施回数 4,000回 参加者数 300,000人	文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業を通して地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開した。 実施回数 4,400回 延べ参加者数 301,090人 コミュニティ協議会役員男女比 男性 337人(64%) 女性 188人(36%) コミュニティ文化祭実行委員男女比 男性2人(9%) 女性21人(91%) ちびっ子ふれあい文化祭実行委員会委員男女比 男性2人(9%) 女性20人(91%)	3	今後も男女・年代を問わず、地域住民の交流とふれあいの場を広め、コミュニティを活発にするため実施を継続する。さらにより多くの方が参加できるように内容や方法を検討する。
011 社会教育団体の託児室利用援助	生涯学習スポーツ課	託児の必要な社会教育関係団体に対し周知を行い、学習活動の活性化に努める。	事業実施回数24回	社会教育関係団体が府中グリーンプラザ託児室を使用する際に助成を行った。 24回 2団体	3	育児をしながら学習する意欲のある市民のための事業であり、目標値程度に実績があったが、平成27年4月現在で助成対象団体はゼロとなった。
012 在宅学習の支援	生涯学習スポーツ課	制度自体は存続しているため利用者から要望があれば引き続き既存のVTRを貸し出す。	数値目標の設定になじまない。	「在宅学習ビデオ」の新規作成は行わず、既存のビデオの貸出のみを行った。 VTR貸出0本	1	新規作成していないこととVHSというメディアがもう一般的に使用されていないことから貸し出し希望がなくなっている。
013① ボランティア活動の支援	市民活動支援課	府中NPO・ボランティア活動センターを中心に、市民と団体、団体と団体をつなげるコーディネート業務の充実と団体支援の強化を図る。	センター登録団体数 120団体を 目指す。	ボランティア活動の情報収集及び提供に努めるとともに、活動の場を提供した。	3	団体の支援メニューを充実したことにより、府中NPO・ボランティア活動センターの登録団体数が昨年より増加したため、3とした。今後は登録団体数のさらなる増加を目指し、より広範囲の活動支援を検討していく必要がある。
013② ボランティア活動の支援	地域福祉推進課	①ボランティア入門講座 ②ボランティア専門講座 ③社会人ボランティア講座 (北多摩南部ブロック5市共催事業) ④夏のボランティア体験 ⑤一日ボランティア体験 ⑥児童・生徒のボランティア活動紹介展 ⑦出張ボランティア教室 ⑧防災ボランティア講座 ⑨教職員に対するボランティア研修 ⑩夢バンクボランティア教室 ⑪ボランティア懇談会・連絡会 ⑫児童生徒のボランティア活動普及事業協力校連絡会 ⑬児童生徒のボランティア活動紹介展	①ボランティア入門講座 150人 ②ボランティア専門講座 40人 ③社会人ボランティア講座 40人 ④夏のボランティア体験 1,300人 ⑤一日ボランティア体験 20人 ⑥出張ボランティア教室 5,100人 ⑦教職員に対するボランティア研修 100人 ⑧夢バンクボランティア教室 80人 ⑨ボランティア懇談会・連絡会 100人 ⑩児童生徒のボランティア活動 普及事業協力校連絡会 50人	府中ボランティアセンター(社会福祉協議会)を中心にボランティア活動の推進に取り組んだ。 ①傾聴ボランティア講座 ・参加31名・H26.9.22/29・実日数2日 ②防災ボランティア ・参加60名・期間H26.10~11・実日数5日 ③ボランティア入門講座 ・参加30名・期間H26.2~3・実日数5日 ④ボランティア専門講座(視覚障害者編) ・参加30名・期間H27.3・実日数1日 ⑤夏のボランティア体験学習 ・中学生以上 参加1,604名・期間H26.7~8・実日数23日 ・小学生と保護者 参加158名・期間H25.7~8・実日数16日 ⑥出張ボランティア教室 ・参加4,943名・期間随時・実日数135日 ⑦「夢バンク」一日ボランティア教室 ・参加49名・期間概ね月1回・実日数12日 ⑧一日ボランティア体験 ・参加3名・期間H26.11・実日数2日 ⑨先生のボランティア研修会 ・参加163名・期間H26.7~8・実日数3日 ⑩ボランティア懇談会・連絡会 ・参加78名・期間通年・実日数10日 ⑪児童・制度のボランティア活動紹介展 ・参加2,708名・期間H27.2・実日数2日 ⑫児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校連絡会 ・参加57名・期間H26.9・27.2・実日数2日 ⑬災害ボランティアセンター設置参集訓練 ・参加16名・期間H27.1.29・実日数1日 ⑭炊き出し訓練 ・参加21名・期間H27.3.27・実日数1日	3	ボランティア講座は、ボランティア活動体験を含めた長期(全5回)講座を2種類、傾聴ボランティア講座修了生を対象としたスキルアップ講座を1回、視覚障害者の支援に特化した専門講座を1回実施した。長期講座については、様々な基調講座や活動者との情報交換など、会を分けて実施することにより、振り返り等がじっくりでき、今後の活動について検討していく材料や機会を多く持った。また、専門講座は、講座の目的が明確なことから、参加者の活動意欲も高く、好評だった。災害ボランティアに関しては市民参加での防災啓発及び、災害時の協力者育成として継続しての実施が必要。また、福祉分野での「ボランティア」に限らず、地域でのささげあい活動など、広い範囲・視野での市民協力者の発掘・育成が必要と考える。
013③ ボランティア活動の支援	生涯学習スポーツ課	基本的に前年度と同一回数、同一内容の講座を開催する。	25年度は実績値が下がったので24年度実績を目標とする。 ボランティア研修:1講座2回延 61人 生涯学習ファシリテーター・サ ポーター養成講座:4講座、21回、 延138人	学習ボランティア(学習情報、パソコン、陶芸、写真等)の活動支援。 ボランティア活動室を提供。 ボランティア研修 1講座、1回、延49人 生涯学習ファシリテーター養成講座・サポーター養成講座を実施。 4講座、20回、延139人	3	講座の企画、記録誌の作成、情報誌の作成等を行うとともに、パソコン・陶芸講座等の講師を務めるなど研修の成果が出ている。 ボランティア団体の成熟に伴い、従来市が実施してきた各種研修を当該ボランティア団体が自主的に開催できるようになっており、指定管理者と協働しながら学習センターにおいて活動した。 今後ファシリテーターやサポーターの実践の機会を増やす取組みを進めたい。

府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価(案)

014	生涯学習セミナーの開催	生涯学習スポーツ課	基本的に前年度と回数、規模、種別等同レベルでの開催を目指す。	25年度実績と同規模を目標とする。(26年度実績と25年度実績の比較から次に目標とする数値が出るものと考えている。)	教養講座 199講座 延22,432人 スポーツ講座 317講座 延37,801人 ※上記の講座に下記の講座を含む。 ・大学連携講座 3講座(外語大・農工大・明大) ・芸術劇場等文化施設連携講座 3講座 ・市民企画講座 3講座 ・ボランティア企画講座の実施 35講座	3	指定管理者に移管したことにより民間のノウハウが発揮され、25年度からは講座の開催数及び延受講者数は劇的に増加した。新規利用者の開拓と市民ニーズにより応えた講座等の企画が今後の課題として挙げられる。
015	生涯学習サポーター制度の充実	生涯学習スポーツ課	実施回数及び登録者数の増加	登録者数80人	27年3月末現在登録者66人	3	前年度と比較し、登録者数が減少しているが、登録者の高齢化や依頼される種目の偏りが見られるため、新規登録者の発掘・育成が必要なほか、制度利用に関する周知も重要と考える。
016	ふちゅうカレッジ100単位修得事業の実施	生涯学習スポーツ課	25年度並の新規登録者数を維持する。	前年並み維持を目標とする。 修了者15人 登録者39人	27年3月末現在登録者2,152人 26年度中修了者17人 26年度 登録者19人	2	生涯学習活動への参加の動機付けとしては、一定の成果を上げているが、新規登録者数は減少しており、この制度の目新しさが欠けてきている。
017	ふちゅうカレッジ出前講座の実施	生涯学習スポーツ課	各課においてコースの見直し・更新を図り、より市民のニーズに沿ったメニューを作成、実施する。	59コース準備した。実施回数が多いことを目的とする事業ではないが、実績は40回程度を目標とする。	市民の要望に応じ、職員が講師として現地に赴き、市の業務などについて講座を実施した。 59コース準備、実績30回 受講者数775人 ※男女比等の集計は行っていないがほとんどの受講者が女性である。	3	講座のコースは身近なものから専門的なものまでラインナップが充実している。 防災・郷土史・子どもの心理についてが人気講座となっている。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
010	

判定理由及び改善策等の提言

--

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (1)社会・地域における男女共同参画

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

④安全・防災対策の推進

地域の安全を守るため、一人ひとりが自分にできることを認識・実行し、そして、お互いに連携のできる防犯活動を支援します。
また、被災時における男女のニーズの違い等男女双方の視点に配慮した防災対策に取り組みます。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
018 地域安全リーダーの育成	地域安全対策課	都と共催の地域安全リーダー講習会を企画・実現し、講習会のさらなる充実と適切な広報等を通じ、女性の参加を協力団体とともに促し、男女共同参画社会の実現に向け取り組む。	年2回開催(内1回都との共催)	①地域安全リーダー講習会 都と共催で例年以上の盛大な講習会を実施した。 開催日:9月27日(土) 参加者数:市24名(女性7名、男性17名) 都17名(女性2名、男性15名)合計41名 ②地域安全市民のつどい 地域安全リーダーに対する研修を実施した。 開催日:10月11日(土) 参加者数:100名(女:男比=2:3)	3	リーダー講習会に関し比較すると、市からの参加者は女性の比率が高いことがわかる。これは参加募集時に、女性の参加を積極的に呼びかけた結果であると評価できる。しかし男性と比較するとまだまだ女性の参加は少ないことから、女性参加の呼びかけを継続して実施していく必要がある。
019 男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進	防災危機管理課	総合防災訓練の事前打合せ会や、避難所管理運営マニュアル策定のための検討会等を行う際は、女性の参加に配慮するとともに、総合防災訓練の実施に当たっては、女性や高齢者、外国人等が参加しやすいような工夫を行う。	全中学校における避難所管理運営マニュアルの策定、また、多様な参加者による市内3校での総合防災訓練の実施	各小中学校に避難所管理運営マニュアル(案)の策定については、現在、小学校11校、中学校5校の計16校で策定されている。 また、府中市防災会議委員として新たに1名の女性を委嘱した。防災会議では、平成26年度総合防災訓練の概略案を審議した他、市の地域防災に係る取組状況等について報告した。	3	災害時における、市指定避難所である各小中学校において、避難所管理運営マニュアル(案)が着実に策定されている。防災会議においても女性の参画が拡大している。今後、総合防災訓練の内容を検討していくに当たっては、男女双方の視点も含め検討していく。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか A…施策は非常に良好に進展している
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか B…施策は良好に進展している
- ・課題を適切に把握しているか C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
019	

判定理由及び改善策等の提言

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (1)社会・地域における男女共同参画

⑤市職員の男女共同参画の推進

職場内の慣行や固定的な性別役割分業意識を見直し、性別にとらわれない職種・職域の拡大を図ります。また、女性職員の指導的立場や庁内組織の様々な分野への積極的な参画を推進します。

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

	事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題												
020	性別・年代の区別のない業務分担の徹底	全庁職員課	性別や年代にとらわれることなく、個人の能力と適性に応じた職員配置及び業務分担を図っていく。	個人の能力と適性に応じた職員配置及び業務分担を行うにあたり、数値目標を設定することはできないが、今後も取組を継続していく。	業務分担が性別や年代により固定化しないよう、個人の能力や適性に応じた職員配置、業務分担に努めた。	3	個人の能力と適性に応じた職員配置、業務分担を行った。今後も引き続き取り組んでいきたい。												
021	女性職員の参画意識の向上	全庁職員課	政策・方針決定の場への女性の参画を推進するため、女性職員に対する昇任試験受験奨励を継続する。	女性職員の昇任試験受験が参画意識の推進となるよう、受験率向上を目指す。	若年時から責任のある仕事を担当させることにより、政策・方針決定の場への女性職員の参画を推進した。また、女性職員の昇任試験受験率の向上を図るため、係長級以下の全女性職員に対し、昇任に関する意識調査(アンケート)を実施し、その結果を踏まえて、現在活躍している女性管理職を講師に招き、キャリア形成等についての意識付けを行うための女性職員リーダーシップ研修を実施し、所属長からも積極的に受験の奨励に努めた。平成26年度課長補佐級(管理職)昇任試験実施状況は次のとおり。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>資格対象者</td> <td>受験者</td> <td>最終合格者</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>98人</td> <td>57人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>19人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> </table>		資格対象者	受験者	最終合格者	男性	98人	57人	10人	女性	19人	2人	0人	3	係長級以下の全女性職員を対象に昇任に関する意識調査(アンケート)を実施し、受験を阻む理由等の研究を行った。今後も調査結果等を踏まえ、引き続き昇任意欲向上に向けた取り組みを進めていきたい。 出産や子育て等のライフイベントにも配慮する中で、市政への参画意識や昇任意識の向上を図っていく必要がある。また、仕事と子育ての両立支援策の充実と合わせ実施する必要がある。
	資格対象者	受験者	最終合格者																
男性	98人	57人	10人																
女性	19人	2人	0人																
022	性別によらない職種・職域の拡大	全庁職員課	性別に偏ることなく平等に業務への参画を図る観点から、職場内慣行や男女職員の役割分担を継続的に見直していく。	男女平等を原則とし、職種・職域等が性別により固定しないよう個人の能力と適性に応じた職員配置を行うにあたり、数値目標を設定することはできないが、今後も取組を継続していく。	職種・職域が性別により固定化しないよう、個人の能力や適性に応じた職員配置、採用に努めた。	3	個人の能力と適性に応じた職員配置、採用を行った。今後も引き続き取り組んでいきたい。												

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか A…施策は非常に良好に進展している
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか B…施策は良好に進展している
- ・課題を適切に把握しているか C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
021	

判定理由及び改善策等の提言

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (2) 働く場における男女共同参画

①就業のための支援

就職、再就職、起業等を目指す女性がスムーズに第一歩を踏み出せるよう、労働に関する情報提供や各種の講座開催等により支援を行います。

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
023 女性の就職支援講座の実施	市民活動支援課	東京しごとセンター多摩と共催の再就職支援セミナーを開催する。	講座定員の80%以上の参加者	東京しごとセンター多摩等と共催し、再就職支援セミナーを実施し、講座の充実に努めた。 ・「女性のための再就職支援セミナー&個別相談会」・1回 受講者数 44人(就職者数 人) ・子育て女性向けセミナーin府中 1回 受講者数19人(就職者数 人) ・再就職スタートアップコース1回(5日間)受講者数87人(就職者数 人) また、東京都補助事業として就職支援セミナー&面接会を実施した。セミナー3回参加者数延べ115人(就職者数10人)	4	再就職講座については、受講者が多いことから、今後も東京仕事センターとの共催で実施する。補助事業については、今後実施については、就労担当課との調整も含め検討する。
024① 起業のための講座の実施	市民活動支援課	起業講座を年1回実施予定。	講座定員の80%以上の参加者	男女共同参画推進フォーラムにおいて「まちに必要なモノやサービスの起業でまちを元気に」・「仲間と始める地域協働ビジネス」・「府中の中で仕事を作ろう」と3講座を開催した。 3回 延べ受講者52人	3	各回の参加者が定員30人のところ、約58%に留まった。各団体のPRとともに周知方法の検討が必要である。
024② 起業のための講座の実施	経済観光課	前年と同様に開催を予定するが、創業支援事業の拡大を図り、本気で起業を希望する方向けへの内容の変更を検討していく。	創業支援計画に基づき、セミナー等受講者のうち、本気で起業を希望する方の2割程度の創業を目指す。	むさし府中商工会議所事業 開業支援セミナー 受講者 44名(女性18名、男性26名)	3	今年度から、本気で起業を希望する方向けへと内容の組み換えを行った。その結果、前年度と比較して女性の割合は微増となり、継続的に女性の関心の高さが伺える結果となった。
025 保健福祉人材育成センターの充実	地域福祉推進課	府中市社会福祉協議会独自事業として、地域福祉リーダー養成研修及び、昨年度リーダー養成研修を受講したメンバーを対象にフォローアップ研修を実施予定	—	廃止		特になし
026① 労働情報の収集と提供	住宅勤労課	国や東京都から情報の提供を受け、労働関係法、労働保険、労働相談、就労に関するセミナー、キャリアアップ講習、就職面接会等のパンフレットを配布及びポスターの掲示、広報への掲載をする。また、ハローワーク府中からの求人情報を配布する。	今後も、情報の収集・提供を進め、幅広く活用いただけるよう努める。	国や東京都から情報の提供を受け、労働関係法、労働保険(労働者災害補償保険・雇用保険)、労働相談、労働関係機関、就労に関するセミナー、キャリアアップ講習、就職面接会等のパンフレットを配布及びポスターの掲示、広報への掲載をした。また、ハローワーク府中からの求人情報を配布した。	3	国や都などの関係機関と連携し、多くの情報を収集しつつ、パンフレットの配布等の情報提供を行う。
026② 労働情報の収集と提供	市民活動支援課	情報提供を実施する。	数値目標設定は困難	国や東京都から情報の提供を受けた労働関係のパンフレット等を配布した。	3	今後も女性センターに各種のパンフレット等を配架し情報提供を実施する。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・ 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・ 担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・ 課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
024②	

判定理由及び改善策等の提言

--

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (2) 働く場における男女共同参画

②労働環境の整備

あらゆる職場において、男女が性別によって差別されることなく、それぞれの意欲と能力を生かすことができるよう、市内外の関係機関と連携を図りながら、事業所に対して啓発を行います。また、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が図れるよう、長時間労働是正の啓発も行います。

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
027 労働相談の充実	広報課	毎月第4木曜日午後2時～4時に、市民相談室で実施する。	相談は増減があり、適切な目標が定めにくい。適切なアドバイス等を行える相談体制の充実と市民への効果的な周知を目標とする。	労働条件、労使関係など労働全般の相談に社会保険労務士が助言・指導を行った。 労働条件 4件 就業規則 0件 解雇 1件 賃金 1件 退職金 0件 その他 6件 合計12件	3	相談実績は前年より減少しているが、相談は増減があり、東京都労働相談情報センター等の活用も含めて対応している。労務相談のさらなる周知を図る。
028① 啓発活動の充実	住宅勤労課	国や東京都から情報の提供を受け、労働関係法、労働保険、労働相談、就労に関するセミナー、キャリアアップ講習、就職面接会等のパンフレットを配布及びポスターの掲示、広報への掲載をする。また、ハローワーク府中からの求人情報を配布する。	今後も、情報の収集・提供を進め、幅広く活用いただけるよう努める。	男女が対等で働きやすい環境をつくるため、改正された男女雇用機会均等法のポイントとともに、育児・介護休業法の概要や就労・生活支援の案内、中小企業への助成金についてのパンフレットを配布し啓発に努めた。	3	国や都などの関連機関と連携し、多くの情報を収集しつつ、パンフレットの配布等の情報提供をする。
028② 啓発活動の充実	市民活動支援課	ワーク・ライフ・バランスの実現のため、意識啓発事業を実施する。	啓発事業年間1回以上	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のための講演会、講座等を実施した。 ・男女共同参画週間記念講演会 1回 「幸せの国アーンにみる男女共同参画」 受講者数 85人(うち男性15人) ・職員課共催事業 1回 受講者数 34人(うち男性18人)	4	内容の充実に努めた結果多くの市民の参加があった。今後も企画内容を工夫していきたい。 職員課共催事業についても、職員にワーク・ライフ・バランスの啓発を行えた。
029 長時間労働是正の啓発	住宅勤労課	法に定める労働時間・時間外労働の最低基準の実現、働く女性に関する法律などを内容とした労働ガイドブックを3,000部作成、配布し啓発に努める。また、関係機関と連携し、長時間労働に関するセミナーを実施する。	今後も、国や都と連携し労働ハンドブックの作成やセミナーの実施を通じて、啓発に努める。	法に定める労働時間・時間外労働の最低基準の実現、働く女性に関する法律などを内容とした労働ガイドブックを3,000部作成、配布し啓発に努めた	3	労働ガイドブックの作成・配布を行う。
030 ノー残業デーの徹底	全庁職員課	引き続き、庁内放送を継続するほか、さらなる徹底策を検討する。	ノー残業デーに限らず、不必要な超過勤務を行わないよう努める。	平成26年5月1日から全庁的に運用を開始した「超過勤務等の縮減に向けた取組」の一つとしてノー残業デーにおける定時退庁の徹底を位置付けたほか、庁内放送による周知により徹底を図った。	4	当該取組を全庁的な取組として改めて位置づけたことで、更なる徹底が図られた。今後も常態化を目指し取り組んでいきたい。
031 関係機関との連携の強化	住宅勤労課	国や都及び市内の労働関係機関と連携した地域雇用問題連絡会議を開催し、情報収集と資料の提供を実施する。また、雇用支援対策として求職活動中の若年、ミドル、中高年の各世代を対象に「就労支援セミナー」や「合同面接会」を開催し連携し実施する。	今後も、国や都と連携し雇用対策として、就職支援セミナーや面接会を実施していく。	国や都及び市内の労働関係機関と連携した地域雇用問題連絡会議を開催し、情報収集と資料の提供を実施した。 また、雇用支援対策として求職活動中の若年、ミドル、中高年の各世代を対象に「就労支援セミナー」や「合同面接会」を開催し連携し実施した。	3	国や都等の関連機関と連携し、就職支援セミナーや面接会を実施し、就職へ繋げる。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
028②	

判定理由及び改善策等の提言

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (2) 働く場における男女共同参画

②労働環境の整備

あらゆる職場において、男女が性別によって差別されることなく、それぞれの意欲と能力を生かすことができるよう、市内外の関係機関と連携を図りながら、事業所に対して啓発を行います。また、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が図れるよう、長時間労働是正の啓発も行います。

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
027 労働相談の充実	広報課	毎月第4木曜日午後2時～4時に、市民相談室で実施する。	相談は増減があり、適切な目標が定めにくい。適切なアドバイス等を行える相談体制の充実と市民への効果的な周知を目標とする。	労働条件、労使関係など労働全般の相談に社会保険労務士が助言・指導を行った。 労働条件 4件 就業規則 0件 解雇 1件 賃金 1件 退職金 0件 その他 6件 合計12件	3	相談実績は前年より減少しているが、相談は増減があり、東京都労働相談情報センター等の活用も含めて対応している。労務相談のさらなる周知を図る。
028① 啓発活動の充実	住宅勤労課	国や東京都から情報の提供を受け、労働関係法、労働保険、労働相談、就労に関するセミナー、キャリアアップ講習、就職面接会等のパンフレットを配布及びポスターの掲示、広報への掲載をする。また、ハローワーク府中からの求人情報を配布する。	今後も、情報の収集・提供を進め、幅広く活用いただけるよう努める。	男女が対等で働きやすい環境をつくるため、改正された男女雇用機会均等法のポイントとともに、育児・介護休業法の概要や就労・生活支援の案内、中小企業への助成金についてのパンフレットを配布し啓発に努めた。	3	国や都などの関連機関と連携し、多くの情報を収集しつつ、パンフレットの配布等の情報提供をする。
028② 啓発活動の充実	市民活動支援課	ワーク・ライフ・バランスの実現のため、意識啓発事業を実施する。	啓発事業年間1回以上	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発のための講演会、講座等を実施した。 ・男女共同参画週間記念講演会 1回 「幸せの国アーンにみる男女共同参画」 受講者数 85人(うち男性15人) ・職員課共催事業 1回 受講者数 34人(うち男性18人)	4	内容の充実に努めた結果多くの市民の参加があった。今後も企画内容を工夫していきたい。 職員課共催事業についても、職員にワーク・ライフ・バランスの啓発を行えた。
029 長時間労働是正の啓発	住宅勤労課	法に定める労働時間・時間外労働の最低基準の実現、働く女性に関する法律などを内容とした労働ガイドブックを3,000部作成、配布し啓発に努める。また、関係機関と連携し、長時間労働に関するセミナーを実施する。	今後も、国や都と連携し労働ハンドブックの作成やセミナーの実施を通じて、啓発に努める。	法に定める労働時間・時間外労働の最低基準の実現、働く女性に関する法律などを内容とした労働ガイドブックを3,000部作成、配布し啓発に努めた	3	労働ガイドブックの作成・配布を行う。
030 ノー残業デーの徹底	全庁職員課	引き続き、庁内放送を継続するほか、さらなる徹底策を検討する。	ノー残業デーに限らず、不必要な超過勤務を行わないよう努める。	平成26年5月1日から全庁的に運用を開始した「超過勤務等の縮減に向けた取組」の一つとしてノー残業デーにおける定時退庁の徹底を位置付けたほか、庁内放送による周知により徹底を図った。	4	当該取組を全庁的な取組として改めて位置づけたことで、更なる徹底が図られた。今後も常態化を目指し取り組んでいきたい。
031 関係機関との連携の強化	住宅勤労課	国や都及び市内の労働関係機関と連携した地域雇用問題連絡会議を開催し、情報収集と資料の提供を実施する。また、雇用支援対策として求職活動中の若年、ミドル、中高年の各世代を対象に「就労支援セミナー」や「合同面接会」を開催し実施する。	今後も、国や都と連携し雇用対策として、就職支援セミナーや面接会を実施していく。	国や都及び市内の労働関係機関と連携した地域雇用問題連絡会議を開催し、情報収集と資料の提供を実施した。 また、雇用支援対策として求職活動中の若年、ミドル、中高年の各世代を対象に「就労支援セミナー」や「合同面接会」を開催し実施した。	3	国や都等の関連機関と連携し、就職支援セミナーや面接会を実施し、就職へ繋げる。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
 - ・担当課の自己評価は適切に行えているか
 - ・課題を適切に把握しているか
- A…施策は非常に良好に進展している
B…施策は良好に進展している
C…現状維持
D…施策がやや後退している
E…後退している

重点項目	評価
028②	

判定理由及び改善策等の提言

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (3) 家庭との両立支援

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

①子育て支援の充実

共働き家庭の増加や働き方の多様化への対応とともに、在宅で子育てをする家庭への支援のため、一時保育等の子育て支援の充実を図ります。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
032 一時保育の拡充	保育支援課	認可保育所の一時預かり・特定保育については新設で1か所と既設で1か所の合計2か所で、認証保育所の一時預かりについては、新たに1か所で開始する。	・私立保育園…17か所 ・公立保育所…1か所 ・認証保育所…9か所	母親の出産や保護者の病気、育児疲れ、そして断続的な就労により、子どもの養育が一時的に困難な家庭に対して子どもを預かり、保護者の多様な保育ニーズに応えた。 また、特定保育事業を利用する保護者に対して利用料の一部を助成した。 【実施施設数及び利用実績】 ・私立保育園…17か所 ・公立保育所…1か所 ・認証保育所…9か所 ・保 育 室…1か所 ・延利用人数…22,227人 ・延助成人数…9,491人	3	本事業は、府中市次世代育成支援行動計画に基づく重点事業としてサービス提供体制の確保等に努め、保護者の多様な保育ニーズに応えた。 また、27年度から新たに府中市子ども・子育て支援計画を定め、引き続き多様な保育へのニーズの高まりに対し、適切に対応していく。
033 子ども家庭支援事業の拡充	子育て支援課	交流ひろば利用者間の交流がさらに図れるよう工夫する。子ども家庭サービス事業のうちトワイライトステイは利用申し込みの利便性・公平性の確保のために導入したインターネット予約システムと見直した料金体系で継続して実施する。子育てスタート支援については、対象者の把握ができる保健センターと調整を図るなど、事業の実施方法の改善検討を行っていく。	交流ひろば利用者数 140,000人 子育て講座等への参加者数 1,060人 トワイライトステイ事業 9,100人 子育て支援ボランティア養成講座参加延数80人	・子ども家庭支援センター事業 年間開館日数 353日 ひろば事業年間利用者 141,827人 相談件数(新規) 949人 リフレッシュ保育延利用人数 1,852人 ・子ども家庭サービス事業年間延利用人数 ショートステイ 209人 トワイライトステイ 8,592人 母子等緊急一時保護 44人 子育てスタート支援 1人 ・子育て支援ボランティア養成講座参加延数 36人	4	交流ひろばは、親子同士が交流できる企画を工夫したり子育てのたまたま箱や広報等でPRを行った事などにより昨年より利用者が増加した。 相談件数は、関係機関との連携による情報共有がスムーズに行われたため、件数が増加した。子育て支援ボランティア養成講座は、終了後子育てひろば等のボランティア活動につなげることができた。子ども家庭サービス事業のうちトワイライトステイ事業については、他の子育て支援サービスの充実等の要因によって、利用人数はやや減少傾向となっている。今後も関係機関と連携し、必要な市民に必要なサービスを適切に提供することに努める。
034 病後児保育事業の拡充	保育支援課	2施設の継続実施。	病児保育利用延人数 1,100人	病気のため通園等が困難な5か月～小学3年生の児童に対し病児保育を行った施設に補助を行った。 また、利用料及び診療情報提供書文書料の一部を助成した。 ○実施施設数…医療機関併設型1施設 保育所併設型1施設 ○新規登録者数…143人 ○利用者数…延532人 ○利用料・文書料助成件数…延57件	3	就労と子育ての両立支援など本事業への要望は引き続き高い。実績値は、その年度毎の保護者の就労状況や感染症の流行等により変化するものの、おおむね500人台で推移している。今後も800人程度の受け入れが可能な態勢の整備を行っていく。
035 ファミリーサポートセンター事業の充実	子育て支援課	事業のPR方法を工夫し、提供会員の増加を図っていく。	総会員数 1,500人 活動件数 6,000件	市民同士が行う子育てに関する援助活動のサポート事業を実施するとともに、事業等の周知を工夫し、提供会員の増加に努めた。 ・会員数 1,714人 依頼会員 1,244人 提供会員 376人 両方会員 94人 ・活動件数 6,073件	4	幅広い世代の提供会員の増加に向けて、周知方法を工夫するなどして提供会員が増加した。活動件数については、提供会員が不足している地域があるので、本事業の周知を更に図り、活動件数の増加に努める。

府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価(案)

036	低年齢児保育の充実	保育支援課	認可保育所入所定員(4月1日現在運用定員) 0歳 335人 1歳 667人 2歳 793人	平成27年度目標 認可保育所入所定員 0歳 335人 1歳 667人 2歳 793人 (暫定値)	認可保育所入所定員 (27年4月1日現在運用定員) 0歳 356人 1歳 675人 2歳 799人 待機児童数(27年4月1日現在) 352人	2	毎年、保育所の定員を増やしてきているものの、入所希望者が増加する中、特に低年齢児の待機児童が生じている。 保育所新設等を進めているが、平成27年4月1日現在の待機児童数は352人で前年度に対し増加している。今後も府中市子ども・子育て支援計画に基づき、認可保育所を中心に施設整備を進め、低年齢児の受入拡大を図る。
037	延長保育の拡充	保育支援課	延長保育実施保育所数 19時 28か所 20時 12か所 22時 2か所	19時以上の延長保育 全施設	延長保育実施保育所数 19時 28か所 20時 12か所 22時 2か所	3	公私全保育所で19時以上の延長保育を実施している。公立3施設で20時延長を行っているが利用が少ない状況がある。
038	認証保育所のサービス充実	保育支援課	認証保育所定員数(26年4月1日現在) 554人	平成27年度目標 認証保育所定員 554人 (暫定値)	認証保育所定員数(26年4月1日現在) 554人	3	26年度4月に1施設を新規開設し、定員を拡大した。 認可保育所の待機児童が生じている中、引き続き拡大を図っていく。
039	学童クラブの充実	児童青少年課	入会児童数が急増した学童クラブの育成環境の改善	学童クラブに入会を希望する児童の全員入会。	学童クラブへの入会を希望する児童がすべて入会することができるよう、狭隘である第一学童クラブの1階に育成室を増築し、施設環境を整備した。 入会児童数 1,798人(4月1日現在) 「放課後子ども教室」を市立小学校22校全校で実施した。 開催日数 延べ4,861日 総参加者数 143,208人	3	入会を希望するすべての児童の受入れを行うことができた。 児童福祉法の改正により、平成28年度から学童クラブの対象児童が小学6年生までとなり、入会を希望する4年生以上の受け皿を放課後子ども教室と連携して確保していく。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
036	

判定理由及び改善策等の提言	

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (3) 家庭との両立支援

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

②ひとり親家庭への支援

仕事と家事の負担や経済的な負担がより大きくなるひとり親家庭に対して、市営住宅の優遇抽せんの実施や技能習得のための費用援助等で、自立のための支援をします。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
040 ひとり親家庭に対する市営住宅入居機会の拡大	住宅勤務課	一般世帯より抽せん玉を多くし、当選の可能性を高くする優遇抽せんを実施する。	数値目標の設定がなじまない事業である。(市営住宅の入居者は多様な世帯で構成されるのが望ましいと考えている。)	一般世帯より抽せん玉を多くし、当選の可能性を高くする優遇抽せんを実施した。 ひとり親申込み者数/申込み総数 69/220 ↓ ひとり親入居者数/新規入居者総数 4/10	3	優遇抽せんの実施により、新規入居者総数に占めるひとり親世帯の割合が高くなっており、一定の効果がある。
041 ひとり親家庭の自立のための援助サービスの実施	子育て支援課	【ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業】 国・都制度では月12回1日8時間の制限があるが、必要に応じて派遣回数・時間数の上乗せを市の判断で実施する。 【ひとり親家庭自立支援事業】教育訓練給付金 5件 高等技能訓練促進費 11件 セミナー開催 2回	【ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業】 派遣時間 7,458時間 派遣時間(付加)4,250時間 派遣回数 1,619回 【ひとり親家庭自立支援】 情報提供の方法を工夫して、計画値が達成できるようにする。	【ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業】 ひとり親家庭となった直後またはひとり親家庭の保護者等が、仕事及び一時的な傷病等で育児等日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣した。 派遣世帯 45世帯 派遣回数 1,900回 派遣時間 8,999時間 【ひとり親家庭自立支援事業】 ①自立支援教育訓練給付金 就業を目的とした教育訓練に関する講座の受講終了後に、受講料の一部を支給した。 0件 ②高等職業訓練促進給付金 就業を容易にするために必要な資格を取得するための養成機関で修業した母子家庭に経済的支援を行った。 8件 ③ひとり親家庭自立促進セミナー ひとり親家庭の自立を促進するため、セミナーを開催した。 2回 ・子どもの成長・発達を知ろう(参加者11人) ・「ひとり親で働く」を考えよう(参加者7人)	3	【ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業】 保護者に仕事があるが、子どもが傷病等で日常生活に支障がある場合等にホームヘルパーを派遣した。今後も、ひとり親家庭の世帯に対して状況に応じた派遣を実施していく必要がある。 【ひとり親家庭自立支援事業】ひとり親家庭の自立を総合的に支援するため、セミナーの開催を行った。また、母子自立支援プログラムを活用して母子家庭等自立支援教育訓練給付金や母子家庭等高等職業訓練促進給付金の支給等自立支援を行った。
042 母子福祉資金及び女性福祉資金の貸付の実施	子育て支援課	貸付の必要性が高い母子家庭の母等に対して、適切な貸付を実施していく。	【母子福祉資金】 新規35件 【女性福祉資金】 新規5件	【母子福祉資金】 配偶者のいない、20歳未満の子どもを扶養している女性に貸付を実施した。 58件 【女性福祉資金】 配偶者がいない女性で、要件を満たす場合に貸付を実施した。 3件	4	母子家庭の母等の経済的自立と児童の福祉増進を図るため貸付を行った。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか A…施策は非常に良好に進展している
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか B…施策は良好に進展している
- ・課題を適切に把握しているか C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
041	

判定理由及び改善策等の提言

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (3) 家庭との両立支援

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

③高齢者・障害者・介護者支援等の充実

高齢の方や障害のある方の介護者に対して、ホームヘルプサービス等介護負担を軽減する支援の充実を図るとともに、高齢の方や障害のある方の自立を目指す、就労の支援等を行います。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
043 高齢者住宅の確保	高齢者支援課	単身になり経済的弱者に陥りやすい高齢女性に対し、安心して生活できる居住の場を提供していく。	事業の性質上、数値目標を設定することは馴染まない。	高齢者住宅136戸のうち女性入居者78.5%、男性入居者21.5% 単身になり経済的弱者に陥りやすい高齢女性に対し、安心して生活できる居住の場を提供した。	3	入居者の多くが女性であり、男女のバランスを考慮する必要がある
044 生きがい事業の充実	高齢者支援課	地域による支えあいの体制を構築するためにも、生きがいづくりのための活動の場や機会を地域に創出できるように取り組む。	事業の性質上、数値目標を設定することは馴染まない。	老人クラブの補助育成や、高齢者等保養施設利用助成事業を実施した。高齢者のニーズに則した事業を実施することにより、結果、女性の福祉向上にもつながっている。それは、これらの事業等の女性の参加状況からも明らかになっている。老人クラブ会員数のうち、女性は6割を超えている。(会員数6,493人、女性4,064人、男性2,429人)	3	生きがいづくりに関する事業は、効果測定が難しいため、細かな検証の積み重ねを行い、今後の事業展開へつなげていく必要がある。
045 高齢者の就労支援	高齢者支援課	引き続き健康で働く意欲のある高齢者の入会を積極的に呼びかけるとともに、会員の男女比率の数値目標を達成できるよう働きかけていく。	会員の男女比率を男性70%・女性30%とする。	シルバー人材センターを通じ引き続き高齢者の雇用を創出し、女性の生活基盤の安定確保に努めた。 就労実績190,739人 (会員数 女性482人、男性1,218人) 引き続き会員数の増加と就業機会の確保・拡大に努めた。(女性会員は約28.4%)	3	会員の募集や就業先の開拓は女性のみを対象に行っているものではないため、女性の割合を上げることは困難である。
046① 介護保険制度と福祉サービスの充実	高齢者支援課	引き続き冊子配布による介護保険制度の案内や福祉サービスの情報提供を行うとともに、自治会や各種団体からの要請に応じ、適宜、介護保険制度の出張説明会が開催できるよう体制を整え、周知を図る。	説明会は要請に応じて実施するため、数値目標は定められない。	介護保険制度の案内や国・都・市・社会福祉協議会の福祉サービスをまとめた冊子「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」を市役所、各文化センター等の施設にて無料配布し、情報提供に努めた。(配布数12,000冊)	3	福祉サービスの情報提供を行い、男女で役割を分けない支えあいのあり方について周知を図った。
046② 介護保険制度と福祉サービスの充実	介護保険課	—	—	介護保険制度の案内や国・都・市・社会福祉協議会の福祉サービスをまとめた冊子「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」を市役所、各文化センター等の施設にて無料配布し、情報提供に努めた。(配布数12,000冊)また、介護保険制度を市民に周知するために、出張説明会を実施し、情報提供に努めた。(説明会3回 出席者53人)	3	介護保険の目的である自立支援を理解してもらい、介護保険サービス・福祉サービスの情報提供を行うことで、男女で役割を分けない支えあいのあり方について周知を図った。
047 障害者福祉サービスの充実	障害者福祉課	【自立支援訓練等事業】 制度改正に伴う利用者への影響を最小限にとどめ、必要なサービスを受給できるよう引き続きサービス提供体制の確保に努める。	【自立支援訓練等事業】 事業の趣旨から、数値目標を定めるのは妥当ではない。	【自立支援介護給付事業】 居宅、施設で生活する障害者(児)が受ける介護サービスについて必要な給付を行った。 ・訪問系サービス ①居宅介護 実人数366人 延利用時間89,130.7時間 ②重度訪問介護 実人数65人 延利用時間352,703.5時間 ③行動援護 実人数10人 延利用時間2,381時間 ④同行援護 実人数41人 延利用時間7,706.5時間 ・日中活動系サービス等 ①生活介護 実人数520人 延利用日数108,957日 ②療養介護 実人数32人 延利用日数11,366日 ③短期入所 実人数249人 延利用日数7,511日 ・居住系サービス ①施設入所支援 実人数144人 ②共同生活介護 実人数95人	3	平成26年度の法改正により共同生活援助と共同生活介護が一元化されたため、共同生活援助の利用者は増となったが、それ以外の利用者数には大幅な増減はなかった。利用量については、全体としてみると増加傾向にあるが、適切なサービス提供を実施することができた。今後も利用者への更なる安定的なサービス提供体制を確保していくことが必要である。

047	障害者福祉サービスの充実	障害者福祉課	<p>【自立支援訓練等事業】 障害者の地域移行をさらに進め、日中活動系サービスや居住系サービスなど訓練等給付費の利用を進めていく。</p> <p>【移動支援事業】 引き続き移動支援を行うことによって、障害者の社会参加を促していく。</p> <p>【障害者日常生活用具給付事業】 相談事業所になっている地域生活支援センターと連携して、制度説明・紹介を行うなど、個々のケースにあったサービスを提供する。</p> <p>【入所施設の整備機能の充実】 例年同様の利用者枠(18名)を確保する。</p> <p>【心身障害者福祉タクシー事業】 25年度に引き続き、事業を実施するが、対象者の見直しを検討する。</p> <p>【車いす福祉タクシー事業】 25年度に引き続き、事業を実施する。</p> <p>【心身障害者自動車ガソリン等費用助成事業】 昨年度に引き続き、継続して実施する。</p> <p>【重度身体障害者緊急通報システム】 25年度に引き続き、事業を実施する。</p>	<p>【自立支援訓練等事業】 事業の趣旨から、数値目標を定めるのは妥当ではない。</p> <p>【移動支援事業】 事業の趣旨から数値目標を定めるのは妥当ではないが、今後も利用者は増加していくことが見込まれる。</p> <p>【障害者日常生活用具給付事業】 数値目標には馴染まない事業である。</p> <p>【入所施設の整備機能の充実】 前年の利用実績(延302名、延912日)を上回ることを目標とする。</p> <p>【心身障害者福祉タクシー事業】 事業の主旨から数値目標を定めるのは妥当ではない。</p> <p>【車いす福祉タクシー事業】 事業の主旨から数値目標を定めるのは妥当ではない。</p> <p>【心身障害者自動車ガソリン等費用助成事業】 事業の趣旨から、数値目標を定めるのは妥当ではない。</p> <p>【重度身体障害者緊急通報システム】 対象者に年に1回の保守点検を行う。</p>	<p>【自立支援訓練等給付事業】 障害者が社会生活を営む上で必要な訓練、また知識や技術を提供するサービスについて必要な給付を行った。</p> <p>・日中活動系サービス等 ①自立訓練(生活訓練)実人数30人 延利用日数1,985日 ②自立訓練(機能訓練)実人数4人 延利用日数234日 ③宿泊型自立訓練 実人数3人 延利用日数919日 ④就労移行支援 実人数89人 延利用日数11,064日 ⑤就労移行支援(養成)実人数0人 延利用日数0日 ⑥就労継続支援(A型) 実人数33人 延利用日数6,111日 ⑦就労継続支援(B型) 実人数438人 延利用日数60,588日</p> <p>・居宅系サービス ①共同生活援助 実人数144人 延利用日数39,369日</p> <p>【移動支援事業】 屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行った。 ・実人数 376人 延利用時間 43,493時間</p> <p>【障害者日常生活用具給付事業】 特殊寝台、居宅生活動作補助用具、移動リフト、電気式たん吸引器、点字ディスプレイ、視覚障害者用拡大読書器他30品目の他、ストマ用具の給付及び助成を行った。 2,390件 53,166,266円</p> <p>【入所施設の整備機能の充実】 知的障害者支援施設の運営に対し、府中・三鷹・調布3市で共同し負担金を支出した。 負担金を支出することで、府中市の入所者枠を昨年同様18人確保している点は平成25年から変わらない。</p> <p>【心身障害者福祉タクシー事業】 2,706人に対し、利用券を助成した。</p> <p>【車いす福祉タクシー事業】 延6,330人に対し、走行時間料金を助成した。</p> <p>【心身障害者自動車ガソリン等費用助成事業】 ガソリン及び経由の税額相当分を1,085人に助成した。</p> <p>【重度身体障害者緊急通報システム】 ひとり暮らし等の重度身体障害者14人に対して、緊急通報システムを設置した。機器については年に1回保守点検を行い、古い機器は新しいものに交換をして生活の安全を確保した。</p>	3 3 3 4 4 4 4 3	<p>・平成26年度には、共同生活介護が訓練等給付事業の共同生活援助に一元化されるなどの法改正があったため増加した。利用者への更なる安定的なサービス提供体制を確保していく必要がある。</p> <p>・年々利用者、利用時間数とともに増加している。今後も引き続き障害者の外出を支援し、社会参加を促す。</p> <p>・障害者等の日常生活上の困難を改善し、自立への支援や介助負担の軽減を図ることができた。平成25年度の事務事業点検において要改善となったため、今後、見直し内容や時期について検討していく。</p> <p>・例年同様の利用者枠を確保する。</p> <p>・本年度は微増だが、数年のスパンで考えると利用者は増加してきている。事務事業点検の結果を受け、平成28年度より所得制限を導入し、対象者の見直しを行う。</p> <p>・本年度は減少しているが、数年のスパンで考えると、利用者数に大きな変化はない。</p> <p>・本年度は微減だが、例年登録者数は増加している。平成28年度より所得制限を導入するため、利用者に対する理解を求める必要がある。</p> <p>・緊急時の対応が難しい重度心身障害者に対し、生活の安全を確保した。</p>
048	介護者の負担軽減サービスの充実	障害者福祉課	<p>【障害者(児)緊急一時入所事業】 25年度に引き続き、事業を実施する。</p> <p>【知的障害者短期入所事業】 協定書に基づき、入所更正施設、通所更正施設及び通所授産施設並びにショートステイ事業に係る経費を、3市(府中市・調布市・三鷹市)が利用配分割合に応じて運営費を負担する。</p>	<p>【障害者(児)緊急一時入所事業】 事業の主旨から数値目標を定めるのは妥当ではない。</p> <p>【知的障害者短期入所事業】 なごみ 302人 延べ 912日</p>	<p>【障害者(児)緊急一時入所事業】 介護者が疾病等の理由により、家庭での保護が困難になった場合に一時施設にて保護を行った。</p> <p>心身障害者福祉センター 宿泊380日 日帰り106回</p> <p>【知的障害者短期入所事業】 知的障害者(児)の保護者や家族の高齢化に伴い、病気や休養、法事などで介護ができない時、一時施設で保護を行った。</p> <p>なごみ 328人 延べ 938日</p>	4 3	<p>前年に比べて日帰り利用者数は減だが、宿泊利用者数は大幅に伸びている。</p> <p>確実に利用できる枠が確保され、障害者の福祉の増進に寄与した。</p>
049	障害のある方の就労支援	障害者福祉課	<p>【障害者清掃作業委託事業】 継続して実施する。</p> <p>【知的障害者雇用事業】 継続して実施する。</p> <p>【障害者就労支援事業】 25年度に引き続き、事業を実施する。</p>	<p>【障害者清掃作業委託事業】 19施設、延べ1,257日</p> <p>【知的障害者雇用事業】 雇用人数9人</p> <p>【障害者就労支援事業】 目標6,500件 就労の機会を提供するとともに、ジョブコーチや日常生活面での支援により、より障害者の就労支援を促進する。</p>	<p>【障害者清掃作業委託事業】 福祉作業所などの授産活動の一つとして清掃作業を委託した。</p> <p>19施設、延べ1,254日</p> <p>【知的障害者雇用事業】 主に市施設での清掃等軽作業に従事した。</p> <p>雇用9人(女性2人、男性7人) 延べ1,971日</p> <p>【障害者就労支援事業】 心障センター「み～な」において就労支援等を行った。 事業登録者 248人 就労支援 6,155件 生活支援 2,780件</p>	3 3 4	<p>安定的な工賃収入の確保。今後自治会やシルバー人材センターやアダプト制度の導入によりあり方を検討する。</p> <p>就労の場の提供により、自立した地域生活を図っている。その中で、福祉的就労や一般就労への移行を目指す。</p> <p>利用登録者数は年々増加し、その相談内容は多様化している。新規就職者数は前年よりも増だが、事業登録者も大きく伸びており、依然障害者の一般企業への就労が厳しい状況が続いている。</p>

府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価(案)

050	社会参加促進事業の充実	障害者福祉課	・手話講習会 25年度に引き続き、事業を実施する。	・手話講習会 各クラス(通訳養成クラスを除く)の定員は40名であるので、その人数に近づけることを目標とする。	・手話講習会 手話通訳者やボランティア活動の担い手を養成した。 期間:26年5月13日～27年3月4日 全40回 127人(94人) 手話入門 昼 参加者23人 修了者16人 手話入門 夜 参加者29人 修了者20人 手話応用 昼 参加者17人 修了者17人 手話応用 夜 参加者27人 修了者21人 通訳基礎 昼 参加者10人 修了者10人 通訳基礎 夜 参加者13人 修了者10人 通訳養成 夜 参加者8人	3	昨年度に比べ、受講者は増加しているが、手話通訳者やボランティア活動の担い手を養成する目的に照らし、更なる受講生の確保が課題である。		
			・軽スポーツ大会 例年同様に開催する。	・軽スポーツ大会 年間1回開催する。	・軽スポーツ大会 開催日 26年5月17日 場所 府中市民陸上競技場 総参加人数 978人(当日参加者・運営協力者)			3	スポーツを通じて、心身障害者、一般市民及びボランティアの方などの相互の親睦、ふれあい等を深めることができた。
			・障害児(児)休養事業 昨年度に引き続き、継続して実施する。	・障害児(児)休養事業 事業の趣旨から、数値目標を定めるのは妥当ではない。	・障害児(児)休養事業 市の保養施設及び指定保養施設(7か所)の利用にあたり、宿泊料を助成した。 利用泊数 延べ631泊 利用人数 延べ528人			4	対象施設は1か所減になったものの、利用状況は昨年並みである。
			・プール開放(郷土の森総合プール) 例年同様に開催する。	・プール開放(郷土の森総合プール) 年間1回開催する。	・プール開放(郷土の森総合プール) 障害者のレクリエーション事業として、参加者相互の親睦を図った。 開催日 26年8月5日 参加人数 271人(女性118人、男性153人)			4	プールの利用を通じて、障害者の健康に資するだけでなく、障害者相互の交流を深めることができた。
			・WaiWaiフェスティバル 例年同様に開催し、さらなる啓発につながるよう努める。	・WaiWaiフェスティバル 年間1回開催する。	・WaiWaiフェスティバル 開催期間 26年12月5日～7日 場所 府中グリーンプラザ 作品展 5日～7日 3日間 コンサート 6日 講演会 7日 施設紹介・物品販売 7日 総来場者数 3,584人			3	障害者の現状やメッセージを障害者自身が発信することで、障害者福祉に対する理解と協力を広めることができた。
051	障害者成人教室(あすなろ学級)の実施	生涯学習スポーツ課	特に見直しはせず、引き続き事業を実施していく。	前年のペースを継続。	知的障害のある成人が、有意義な生活や、自立への方法と余暇の充実活動を学び周辺の人とのコミュニケーションを学ぶ講座として実施する。 17回、延べ出席995人	3	ボランティアスタッフを中心に運営しており、市民協働の一つの成功事例と評価できる。 定員を超えて参加を受け入れており、運営体制を十分なものにするためスタッフの増員が課題となっている。		
052	年金制度の情報提供	保険年金課	広報ふちゅう・ホームページ・府中インフォラインへ国民年金に関する案内記事を掲載するとともに、ポスター掲示や各種パンフレットの配布等により年金制度の案内を行う。また、窓口には常時2名の年金相談員を配置し、市民の年金に関する届出等の利便性向上と相談体制の充実を図る。	・広報ふちゅうへの記事掲載回数 30回 ・府中インフォラインへの記事掲載回数 1回	・広報ふちゅう・ホームページ・府中インフォラインへ国民年金に関する案内記事を掲載するとともに、ポスター掲示や各種パンフレットの配布等により年金制度の案内を行った。また、窓口には常時2名の年金相談員を配置し、市民の年金に関する届出等の利便性向上と相談体制の充実を図った。 ・広報ふちゅうへの記事掲載回数 29回 ・府中インフォラインへの記事掲載回数 1回 ・年金届出等の取扱件数 31,168件 ・窓口・電話・文書等による相談対応件数 40,400件	3	現在、市における国民年金事務は、関係法令及び地方自治法第245条の9第3項に基づき定められた国民年金市町村事務処理基準に基づき執行している第1号被保険者の適用及び裁定事務の法定受託事務であり、その他保険料収納等の事務は国の直接執行事務となっている。 国民年金制度は、健全な生活を維持するために世代間で支えあう国の共助システムであると同時に、給付の一部は国の負担で賄われる公助システムである。また、保険料納付実績に応じて年金額が決まる自助のシステムでもある。原則20歳以上60歳までの全ての人加入し、保険料を納めることとなっているが、度重なる制度改革をはじめ若年層における関心の低さ、現下の厳しい経済情勢等を背景とする保険料納付率の低迷など、さまざまな課題がある。 市では、市民が安心して歳を重ね、老後等に公的年金をベースにして安定した生活を送れるようにするため、市民に身近な相談窓口として日本年金機構と協力連携し、より一層丁寧に、正確な情報の提供が求められる。		

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
044	

判定理由及び改善策等の提言

--

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (4) 国際社会への貢献

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

①国際理解と国際交流の推進

国際理解を推進するために、情報提供や学習機会の充実を図るとともに、国際交流のためのボランティア活動を支援し、市民レベルでの国際交流を推進します。また、在住外国人が地域で充実した生活が送れるよう、日常生活のための情報や学習機会を提供するとともに、外国人相談窓口の充実を図ります。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
053 外国人相談窓口の充実	広報課	日常生活において、身近な行政機関は、市役所であり、常時相談を受ける体制を整えておくことが重要であるため、毎週月～金曜日に市民相談室で実施する。	相談は増減があり適切な目標が定めにくい。適切な助言・アドバイス等を行える相談体制の充実と外国人への効果的な周知を目標とする。	通訳ボランティアを公募登録してもらい、外国人の日常生活全般をはじめ、市政相談まで幅広く相談に応じている。 一般相談 相談件数 ①家庭生活 0件 ②くらし 0件 ③財産 0件 ④その他 0件 合計 0件 市政相談 相談件数 ①生活環境 0件 ②くらし 4件 ③社会福祉・教育 0件 ④その他 0件 合計 4件	3	相談実績は、昨年より増加しており、相談に来た外国人に対しては、適切な助言・アドバイス等が行えている。 通訳ボランティアの協力により相談ができる体制になっているが、通訳ボランティアの人数の増員、対応できる言語を増やすことは、今後の相談者の増加によっては検討が必要となる。
054 在住外国人女性の支援	市民活動支援課	日本語学習会 192回	託児受入れ年齢に達していない年齢を抱える外国人女性に対して、サロンに参加し、日本人・外国人と交流できる新たな事業を考える必要がある。	府中国際交流サロンの日本語学習会で、多数の外国人女性を支援した。また、学習会のうち週2回、託児を設け、子育て中の女性が学習会に参加しやすい環境を提供した。 ・日本語学習会開催190回 学習者登録数 男性 93人 女性 149人	3	年間を通して日本語学習会を定期的に開催した。日本語学習だけでなく、生活上必要な情報の提供や生活支援をどのように提供するか、検討が必要である。
055 女性の国際交流の推進	市民活動支援課	友好都市ウィーン市ヘルナルス区への高校生6名の派遣。 府中国際交流サロンでの日本語学習会の実施。	ボランティアの数を増やすことよりもコミュニケーション、外国人の置かれた状況、異文化に対する理解等の質の向上が必要である。研修等を通じて、ボランティアの資質向上に努める。	友好都市ウィーン市ヘルナルス区に高校生派遣事業として6人を派遣した。(女性5人、男性1人) 府中国際交流サロンの日本語学習会に、在住外国人への日本語教授ボランティアとして多数の女性市民が参加し、日本語の指導・交流を行った。また、国際交流サロン運営に関わるなど、国際理解・国際交流推進活動に貢献した。 ボランティア登録者数 男性 36人 女性 106人 日本語学習会参加者数(年間延べ) 外国人学習者 4,212人 日本人ボランティア 4,265人	3	日本語学習会へは、延べ人数で見ると学習者とほぼ同数のボランティアが参加している。日本語教授ボランティアとして活動するにあたり、国際理解や多文化共生に対する理解等の資質を備えたボランティアの維持と確保が必要である。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
- ・担当課の自己評価は適切に行えているか
- ・課題を適切に把握しているか

- A…施策は非常に良好に進展している
- B…施策は良好に進展している
- C…現状維持
- D…施策がやや後退している
- E…後退している

重点項目	評価
054	

判定理由及び改善策等の提言

目 標 I あらゆる分野における男女共同参画

課 題 (4) 国際社会への貢献

【担当課評価基準】

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
- 3…おおむね予定した成果が出ている
- 2…予定した成果があまり出していない
- 1…予定した成果が出していない

②平和・人権意識の推進

平和な社会の形成は、人権尊重の基礎となるものであり、女性問題解決の前提条件です。平和を願い、人権を大切にすることを高めるとともに、平和に関する学習や啓発事業を推進します。

事業項目	担当課	26年度の計画	26年度の数値目標	26年度の取組と実績	担当課評価	評価の内容と今後の課題
056 憲法講演会の開催	生涯学習スポーツ課	26年度については、憲法週間の初日である5月1日の市広報掲載とともに募集を始め、6月8日(日)に実施し、82名の出席があった。今後27年度の企画を進める。	講演会参加者41人(24年度実績)	憲法週間初日である5月1日号広報に、日本国憲法に関する講座の告知をし、6月に講座を開催し広く市民に憲法について考えてもらう機会を提供する。 1講座・出席者82人(うち女性8名)	4	スポーツをする権利をテーマとしたところ目標よりも多くの来場者を集めることができた。 憲法週間での開催にこだわらなかったことも奏功したと考えている。
057 平和展の開催	生涯学習スポーツ課	平和展(パネル展示)を7月に市役所本庁舎、8月にルミエール府中、3月に生涯学習センターで実施する予定。 ほかに平和啓発事業として夏休み子供平和バスツアー(7月)、平和の集い(8月)を実施する予定。	合計参加者18,000人	8月の終戦記念日や3月の東京都平和の日に合わせて戦争・平和について市民に考えてもらう機会を提供し、現在の平和な社会を守っていくことがどんなに大切なことなのかを考えていくために実施。 平和啓発事業として、平和展のほか、夏休み子どもバスツアー、平和の集い(朗読・映画会)を実施した。 合計参加者 15,108人 ※統計はないが男女比は概ね半々程度	3	数値目標としては届かなかったが、前年を越える参加者を獲得することができた。 しかし、成果や実績以上に継続して啓発していくことにこそ意義がある事業と考えている。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価及び総合評価

【項目評価基準】

- ・ 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか
 - ・ 担当課の自己評価は適切に行えているか
 - ・ 課題を適切に把握しているか
- A…施策は非常に良好に進展している
 - B…施策は良好に進展している
 - C…現状維持
 - D…施策がやや後退している
 - E…後退している

重点項目	評価
057	

判定理由及び改善策等の提言

平成25年度事業についての第三者評価の提言及び提言についての各課対応

事業項目番号	事業項目	第三者評価	総合評価	総合評価の判定理由	改善策等の提言	第三者評価の提言に対して平成26年度の対応	第三者評価の提言に対して平成27年度の対応	左記の対応内容または理由	担当課
I あらゆる分野における男女共同参画									
(1) 社会・地域における男女共同参画									
①政策・方針決定過程への女性の参画の拡大									
001	審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進	C	D	女性の比率が、0%という審議会等もまだあるので、この評価にしました。	女性委員がいない、府中市情報公開審査会、府中市農業経営改善計画認定検討協議会、国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討協議会、府中市成人歯科健康診査推進協議会、府中市桜通り等改修計画推進協議会への女性の登用や母体となる団体に女性の推薦を働きかけるようなことが必要です。	1 実施	1 実施予定	女性委員がいない審議会等につきましては、所管する主管課に対して、選出母体となる団体に女性の推薦を働きかけていきます。	政策課
②女性の人材育成と活動支援									
004	市民の自主的学習活動の援助	B	B	フォーラムの参加人数が昨年よりも増加し、市民企画講座の応募件数も昨年より多かったことから良好に進んでいると判断し、この評価にしました。	引き続きPRを行い幅広い市民層への参加拡大を図ってください。また、市民企画講座は、応募団体の件数を増やすことを目指すのではなく、男女共同参画に資するものを企画することへの支援も必要です。	1 実施	1 実施予定	各種講座やフォーラム事業の内容の充実を図るとともに、登録団体とのさらなる連携を図り、参加者の増加に努めます。また、市民企画講座については、登録団体に対して積極的にPRし、男女共同参画計画推進状況の重点項目に該当する企画団体数が増えるよう努めます。	市民活動支援課
③地域活動における男女共同参画の推進									
010	コミュニティ活動等への参加促進	C	C	昨年に比べて実施回数、参加人数も減少し目標に届いていないが、天候の影響があったことからこの評価にしました。	実行委員は女性に偏り、役員は男性が多いのが現状です。女性の役員比率を引き上げるとともに男性の実行委員の比率も引き上げさらに参加者の増加に努めてください。	2 検討	2 未定・検討	「検討」 コミュニティ協議会の加入団体構成のうち自治会・老人クラブ選出が全体の割合の大多数を占めている。このふたつの母体はほとんどの会長が男性であり、役員比率に反映してしまうのが現状である。可能な限り女性役員の増加に努めていきたい。 参加者の増加については告知を工夫し増加に努めたい。	市民活動支援課
④安全・防災対策の推進									
018	地域安全リーダーの育成	D	D	防災会議委員に2名の女性を委嘱できたことは評価できますが、地域安全リーダー講習会が中止され、代替の講習会等も開催されていないので、この評価にしました。	参加者の都合で講習会等が開催できないのであれば、代替の講習会等を実施できないか検討するとともに女性の参加促進、女性リーダーの育成に積極的に取り組んでください。	1 実施	1 実施予定	26年度の地域安全リーダー講習会は、計画通り東京都との共催で実施し、参加者合計41名という盛大な講習会となった。その中でも市からの参加者は、女性参加者が多く、女性リーダーの育成に貢献することができた。 27年度は、例年通り市独自での開催となるが、男女共同参画を企画段階から意識し、女性の参加を積極的に推進する募集方法を関係団体と協議していく。	地域安全対策課
019	男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進	C				—	—	—	防災危機管理課
⑤市職員の男女共同参画の推進									
021	女性職員の参画意識の向上	C	C	受験率の向上もみられず、現状維持と判断し、この評価にしました。	女性職員の参画を推進するためには、何故受験しないのかの原因を究明するために女性管理職の割合の高い自治体の状況を調査し、対策を講じる必要があります。	1 実施	1 実施予定	平成26年度は、係長級以下の全女性職員に対し、昇任に関する意識調査（アンケート）を実施し、受験を阻む理由等について研究した。回答率は、対象職員654人中、547人から回答があり、83.6%であった。 また、同アンケートの結果を踏まえ、現在活躍している女性管理職を講師として招き、女性職員リーダーシップ研修を実施し、これまでのキャリア形成等について講義をいただいた。また、座談会形式で、昇任に関する考え方や、これからのキャリア形成について自由な意見を交わす場を設けた。 平成27年度は、女性職員のキャリア形成を中心に内容を拡充させて研修を実施し、ロールモデルとなる女性管理職を招いて自由な意見を交わす座談会の実施を予定している。 女性管理職の割合が高い自治体の調査については、職員数等の構成を見極めながら検討していく。	職員課

平成25年度事業についての第三者評価の提言及び提言についての各課対応

事業項目番号	事業項目	第三者評価	総合評価	総合評価の判定理由	改善策等の提言	第三者評価の提言に対して平成26年度の対応	第三者評価の提言に対して平成27年度の対応	左記の対応内容または理由	担当課
(2) 働く場における男女共同参画									
① 就業のための支援									
023	女性の就職支援講座の実施	C	C	講座の参加者率も80%と高く、講座修了後就職までつながった方が、13名いるとのことからこの評価にしました。	引き続き東京しごとセンターと連携を図るとともにアンケート調査の内容を精査し、より就職に結びつく充実した内容の講座にしてください。	1 実施	1 実施予定	東京しごとセンターとの共催講座であるため、アンケート結果等の対応等今後も協議していきます	市民活動支援課
② 労働環境の整備									
027	労働相談の充実	C	C	相談件数が昨年と同様で、40%の実績となっているので、この評価にしました。	どのような相談を行っているのか、例えば労働条件で何件、就業規則で何件など相談実績やその他の内訳も含めた、市民が相談しやすくなるような周知方法を考えてください。引き続き、東京都労働相談情報センターとの連携を図ってください。	1 実施	1 実施予定	周知方法につきましては、窓口での案内の他、HPや広報等を活用し、市民がより相談しやすくなるように努めてまいります。 また、相談窓口として、東京都労働相談情報センターの活用等を含め、引き続き同センターとの連携を図ってまいります。	広報課
(3) 家庭との両立支援									
① 子育て支援の充実									
036	低年齢児保育の充実	C	C	保育所を増やす努力はしているようですが、待機児童は前年の181人より増加しているためこの評価にしました。	認可保育所の増設だけを促進するのでは、待機児童を減少するための解決策にはならないと考えます。民間事業者や個人が設置している認証保育所や家庭的保育事業の充実、認定こども園についても促進するように関係機関に促してください。また、数値目標だけでなく、待機児童を減らすための政策も講じ、記載するようにしてください。	1 実施	2 未定・検討	府中市次世代育成行動計画に基づき、定員を増やすため保育所の増設を行っており、平成26年度において、認可保育所1施設、認証保育所1施設を新設したものの、待機児童の解消には至らなかった。他の制度・サービス等については、今後の待機児童数の状況や子ども・子育て新制度に伴う国や都の動向を注視しつつ検討していく。	保育支援課
② ひとり親家庭への支援									
041	ひとり親家庭の自立のための援助サービスの実施	C	C	ホームヘルプサービス、自立支援事業ともに定着した事業になり安定したサービスが提供できているのでこの評価にしました。	必要な事業であり、国・東京都よりも補助しているとのことだが、派遣世帯は昨年並みです。本当に必要とする方への周知・支援に努めてください。また、次回からはセミナーの参加人数も記入してください。	1 実施	1 実施予定	【ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業】 ひとり親の手当・医療費助成等の新規申請者へ制度概要のチラシを配布する。 【ひとり親家庭自立支援】 対象者がひとり親ということで、児童扶養手当の現況届送付時に案内パンフレットを同封し送付。あわせて広報ふちゅう、市のホームページで周知し、周知の徹底を図っている。セミナーのテーマは参加者のアンケート結果を参考にしている。	子育て支援課
③ 高齢者・障害者・介護者支援等の充実									
045	高齢者の就労支援	C	C	女性会員が目標の30%に達せず、昨年と同様のことからこの評価にしました。	女性のシルバー人材センター登録会員数の増加を考えるには、シルバー人材センターの仕事を中身、サービス形態等から見直す必要があります。	3 実施困難	2 未定・検討	会員の募集や就業機会の開拓等は女性を対象に限定して行っているものではないため、女性会員の割合30%を達成することは困難である。	高齢者支援課

平成25年度事業についての第三者評価の提言及び提言についての各課対応

事業項目番号	事業項目	第三者評価	総合評価	総合評価の判定理由	改善策等の提言	第三者評価の提言に対して平成26年度の対応	第三者評価の提言に対して平成27年度の対応	左記の対応内容または理由	担当課
(4) 国際社会への貢献									
①国際理解と国際交流の推進									
054	在住外国人女性の支援	C	C	在住外国人を対象とした日本語学習会を継続して定期的に行なっているため、この評価にしました。	日本語の学習支援、日本文化の啓発に今後も努めてください。また、防災の面を含めて在住の外国人女性が地域の中で孤立しないようにしてください。託児の受け入れ年齢に達していない乳幼児を連れて参加できる事業も考えてください。	1 実施	1 実施予定	平成26年度に、東京外国語大学と府国際交流サロン、市との協働により、「外国人のための『やさしい防災ノート』」を作成した。平成27年度から市施設等において配布している。また、平成27年度も防災に替わるテーマについての情報をわかりやすい日本語でまとめた便利帳を作成する予定である。乳幼児の同伴に対応した事業については、今後検討する。	市民活動支援課
②平和・人権意識の推進									
057	平和展の開催	B	B	目標に達しているため、この評価にしました。	平和展を市民協働で実施し、男女共同参画に係る市民目線を取り入れることを期待します。また、戦争と女性をテーマにした企画展を実施し、女性に対するあらゆる暴力の防止を市民へ啓発することが必要です。	3 実施困難	3 実施困難	平和に対する考え方や戦争に対する歴史認識にはいろいろな立場があるので、どの立場にも与しないよう淡々とした事実を展示し、平和について考えてもらうことを企図しています。この条件を満たす史実として評価の定まった資料を都や近隣市を含めても所蔵していないこと、男女共同参画にかかる目線を取り入れると事業の趣旨が変わってしまうおそれがあることなどからいずれの提言も実現は困難と考えます。 なお、平和展以外の平和啓発事業では、平和のつどいにおいて市民団体が市民の戦争体験談を朗読するなど市民協働の要素を取り入れて実施することがあります。また、26・27年とも「沖縄戦とひめゆり学徒」と題し、女学生におきた史実をテーマとした展示をしています。	生涯学習スポーツ課